

わたしの可愛い人ーシェリ (2009)

CHERI

メディア 映画
ジャンル ロマン스 文芸
製作国 イギリス／フランス／ドイツ
色彩 Color
時間 90分
初公開日 2010/10/16
公開情報 セテラ・インターナショナル
映倫 R15+

【キャッチコピー】
レア、恋には熟練のココット（高級娼婦）。
彼は、友人の息子シェリ、19歳。

【解説】
「ヘンダーソン夫人の贈り物」「クィーン」のスティーヴン・フリアーズ監督が、フランスの女性作家コレットの代表作『シェリ』を、「危険な関係」のミシェル・ファイファーを主演に迎えて映画化した文芸ラブ・ロマンス。20世紀初頭のパリを舞台に、思いがけずはるかに年下の青年と恋に落ちた誇り高き元ココット（高級娼婦）のヒロインが、やがてその終わりの時を迎える姿を、ベルエポックを再現した華麗な美術・衣装とともに描き出す。共演は「ヴィクトリア女王 世紀の愛」のルパート・フレンド、「ミザリー」のキャシー・ベイツ。
1906年、パリ。繁栄を謳歌するこの街で、ココットと呼ばれる高級娼婦は美貌と教養を兼ね備え、富ばかりか社会的なステータスも手に入れたまぎれもないセレブたちだった。そんなココットの中でもっとも成功した一人であるレアは、引退後は悠々自適な日々を送っていた。ある日、レアの元同業者で数少ない友人のマダム・プルーから、彼女の19歳の息子フレッドが女遊びが過ぎて手がつけられないと相談を受ける。恋のイロハを知り尽くしたレアは、“教育係”の気持ちで彼女がシェリと愛称で呼ぶフレッドと付き合い始める。ところが、不覚にもシェリに恋してしまうレア。やがて2人の関係は6年が過ぎようとしていた。そしてついに、シェリに10代の娘との結婚話が持ち上がる。動揺を隠し、毅然と振る舞うレアだったが…。

【クレジット】		
監督	スティーヴン・フリアーズ	Stephen Frears
製作	ビル・ケンライト	Bill Kenwright
	アンドラス・ハモリ	Andras Hamori
	トレイシー・シーウォード	Tracey Seaward
	トム・マウント	Thom Mount
	クリストファー・ハンプトン	Christopher Hampton
製作総指揮	リチャード・テンプル	Richard Temple
	サイモン・フォーセット	Simon Fawcett
	フランソワ・イヴェルネル	Francois Ivernel
	キャメロン・マクラッケン	Cameron McCracken
原作	コレット	Colette
『シェリ』 （岩波文庫刊）		
脚本	クリストファー・ハンプトン	Christopher Hampton

撮影	ダリウス・コンジ	Darius Khondji	
プロダクション デザイン	アラン・マクドナルド	Alan MacDonald	
衣装デザイン	コンソラータ・ボイル	Consolata Boyle	
編集	ルチア・ズケッティ	Lucia Zucchetti	
音楽	アレクサンドル・デプラ	Alexandre Desplat	
ナレーション	スティーヴン・フリーアーズ	Stephen Frears	
出演	ミシェル・ファイファー	Michelle Pfeiffer	レア・ド・ロンヴァル
	ルパート・フレンド	Rupert Friend	シェリ（フレッド・プ ルー）
	フェリシティ・ジョーンズ	Felicity Jones	エドメ
	キャシー・ベイツ	Kathy Bates	マダム・プルー
	イーベン・ヤイレ	Iben Hjejle	マリ＝ロール
	フランシス・トメルティ	Frances Tomelty	ローズ
	アニタ・パレンバーグ	Anita Pallenberg	ラ・コピーヌ
	ハリエット・ウォルター	Harriet Walter	ラ・ルーピオット
	ベット・ボーン	Bette Bourne	男爵
	ゲイ・ブラウン	Gaye Brown	リリ
	トム・バーク	Tom Burke	デスモン子爵
	ニコラ・マコーリフ	Nichola McAuliffe	マダム・アルドンザ
	トビー・ケベル	Toby Kebbell	パトロン